



# リノベーション りのべっち・ZERO 連携編

本書は、りのべっちデータをARCHITREND ZEROに取り込む  
操作を解説したテキストです。

# 目次

## リノベーション りのべっち・ZERO連携編

---

1. 概要	1
1-1 データフロー	1
1-2 サンプルデータの取り込み方法	2
2. 1・2部屋を取り込む場合	3
2-1 リフォーム現況物件の新規作成	3
2-2 りのべっちデータの取り込み	4
3. 1棟すべてを取り込む場合	7
4. 下図だけを取り込む	10
5. S造・RC造の場合	12
6. りのべっちからの仕上・部品・建具の連携について	14
6-1 壁・素材の連携について	14
6-2 部品の連携について	14
6-3 建具の連携について	15

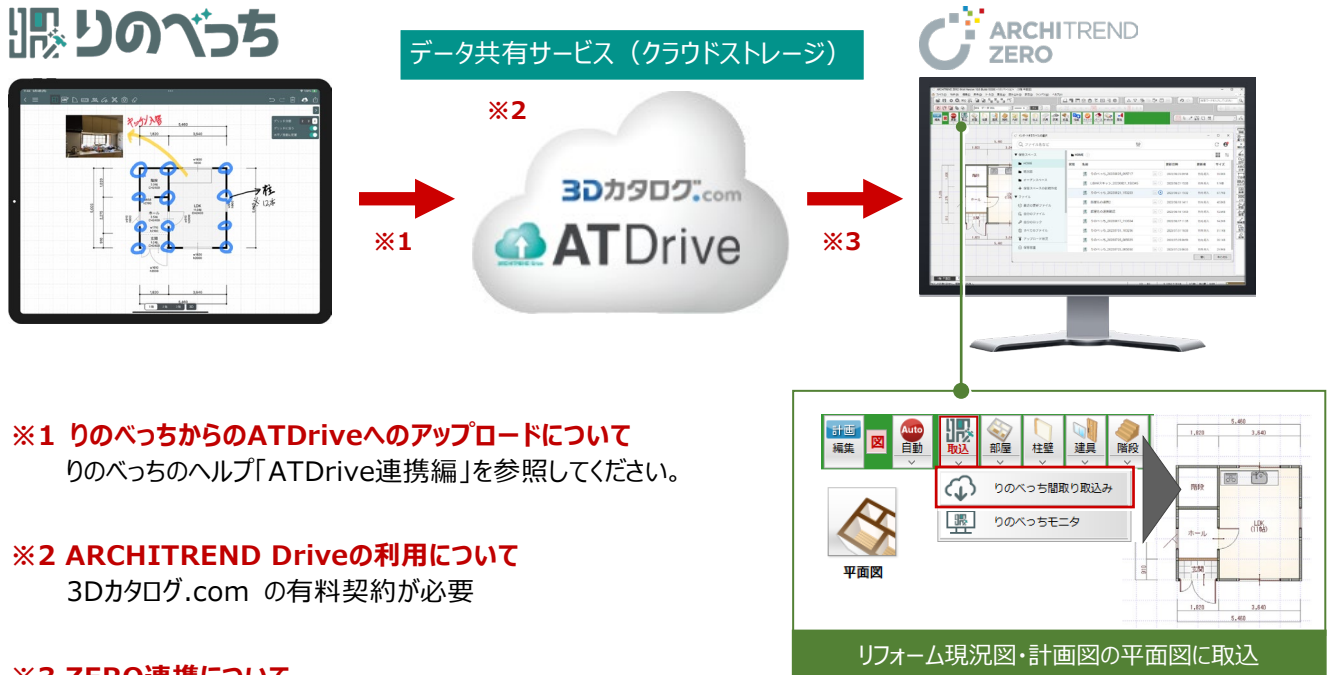
# 1

## 概要

本書では、りのべっちデータをARCHITREND ZEROに取り込む操作を解説しています。

りのべっちデータを扱うには、ARCHITREND ZEROのオプション、3Dカタログ.comの有料契約などが必要になります。これらの条件とデータフローについて確認しましょう。

### 1-1 データフロー



※1 りのべっちからのATDriveへのアップロードについて  
りのべっちのヘルプ「ATDrive連携編」を参照してください。

※2 ARCHITREND Driveの利用について  
3Dカタログ.com の有料契約が必要

#### ※3 ZERO連携について

りのべっちの間取りデータをARCHITREND ZEROに連携するには、以下の機能等が必要になります。

- ・ ZERO Ver.10 以降、かつZEROの『リノベーション』オプションを購入している必要があります。
- ・ 3Dカタログ.com の有料契約が必要です。  
(ARCHITREND Driveを介してZEROに連携)

目的	りのべっちの入力状況	ZERO連携 (取込方法)
軽微なリノベーション	1・2部屋を入力	P.3
大規模なリノベーション	1棟まるごと入力	P.7
耐震診断		
下図確認とヒアリング	下図を取り込み、現況調査の結果をメモ	P.10

## 1-2 サンプルデータの取り込み方法

「りのべっち・ZERO連携編」で用意している「りのべっち」データをATDriveに取り込む方法を解説します。

### りのべっちデータを指定する

- 1 3D カタログ.com サイトの「サービス」メニューから「ATDrive」を選びます。
- 2 「ログイン」より、3D カタログ.com にログインします。
- 3 「フォルダー一覧」をクリックします。
- 4 「保管スペース」からフォルダを選択します。
- 5 一覧右下にある「こちらにファイルをドロップ」に、サンプルデータ（\*.adbr）をドラッグします。
- 6 確認画面で「展開する」をクリックします。
- 7 確認画面で「閉じる」をクリックします。

1 サービスメニューから「ATDrive」を選びます。

2 ログイン

3 フォルダー一覧

4 保管スペース

5

名前	更新日時	種類
りのべっち 1棟データ.adbr	2023/09/06 13:23	ADBR ファイル
りのべっち DK.adbr	2023/09/06 13:23	ADBR ファイル
りのべっち DK・和室.adbr	2023/09/06 13:23	ADBR ファイル
りのべっち 和室.adbr	2023/09/06 13:21	ADBR ファイル
下図 リフォーム案.adbr	2023/09/06 13:24	ADBR ファイル

6 展開する

7 閉じる

りのべっちデータは、1ファイルごとドロップしてください。複数ファイルまとめて取り込むことはできません。

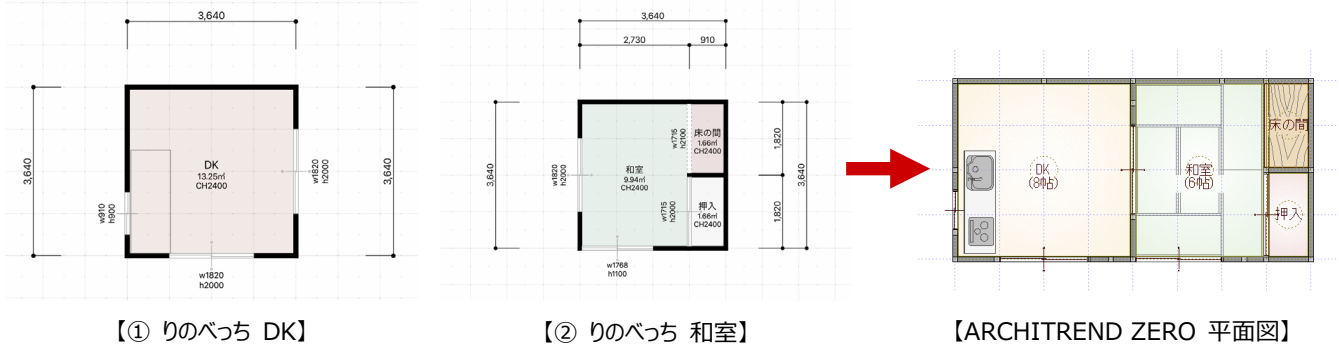
こちらにファイルをドロップ

# 2

## 1・2 部屋を取り込む場合

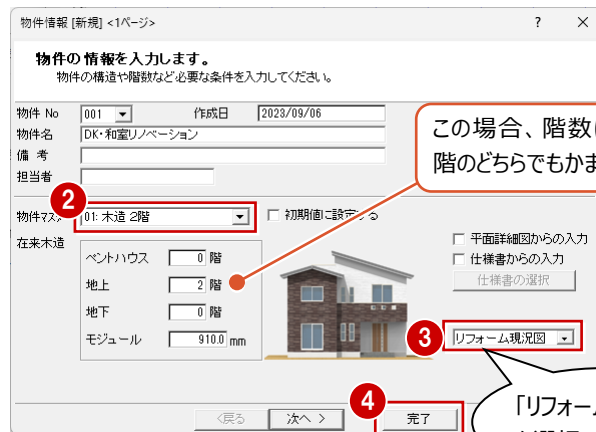
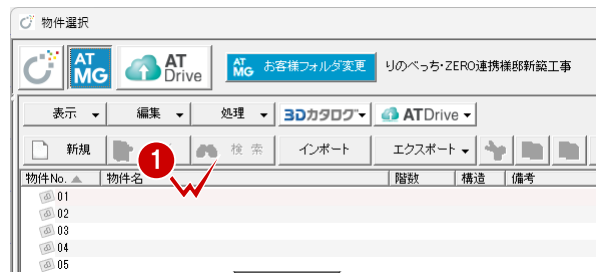
「りのべっち」にて、LiDARを使って部屋をスキャンした場合など、部屋ごとのりのべっちデータ（次図：①②のデータ※）を作成した場合における、「ZERO」への取り込み方法を解説します。

※ ①②のデータには、3Dカタログ.comのメーカー建材を割り当てていない状態です。



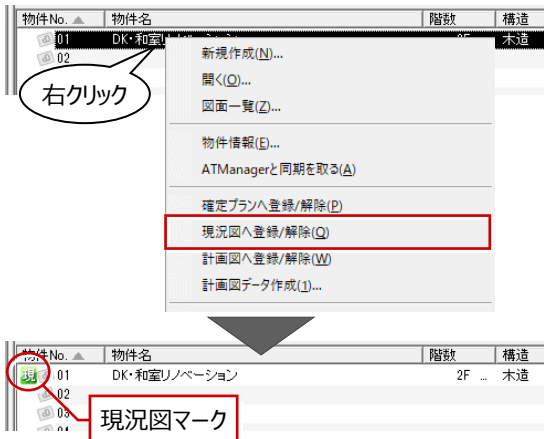
### 2-1 リフォーム現況物件の新規作成

- 1 「物件選択」ダイアログで未登録欄をダブルクリックします。
- 2 ダイアログの物件マスタで対象の構造のマスタを選択します。  
ここでは「木造 2 階」を選択します。
- 3 ダイアログ右下のリストより「リフォーム現況図」を選びます。
- 4 「完了」をクリックします。
- 5 「処理選択」ダイアログから 1 階平面図を開きます。



#### 物件を作成した後に「リフォーム現況図」に設定するには

「物件選択」ダイアログで対象物件を選択後、一覧で右クリックして「現況図へ登録/解除」を選びます。「現況」マークが表示されます。



## 2-2 りのべっちデータの取り込み

本書では、2つのりのべっちデータを取り込む際に建具の位置を編集して、ZEROの平面図に取り込む操作を解説します。

### りのべっちデータを指定する

- 1 1階平面図を開き、「りのべっち間取り取り込み」をクリックします。

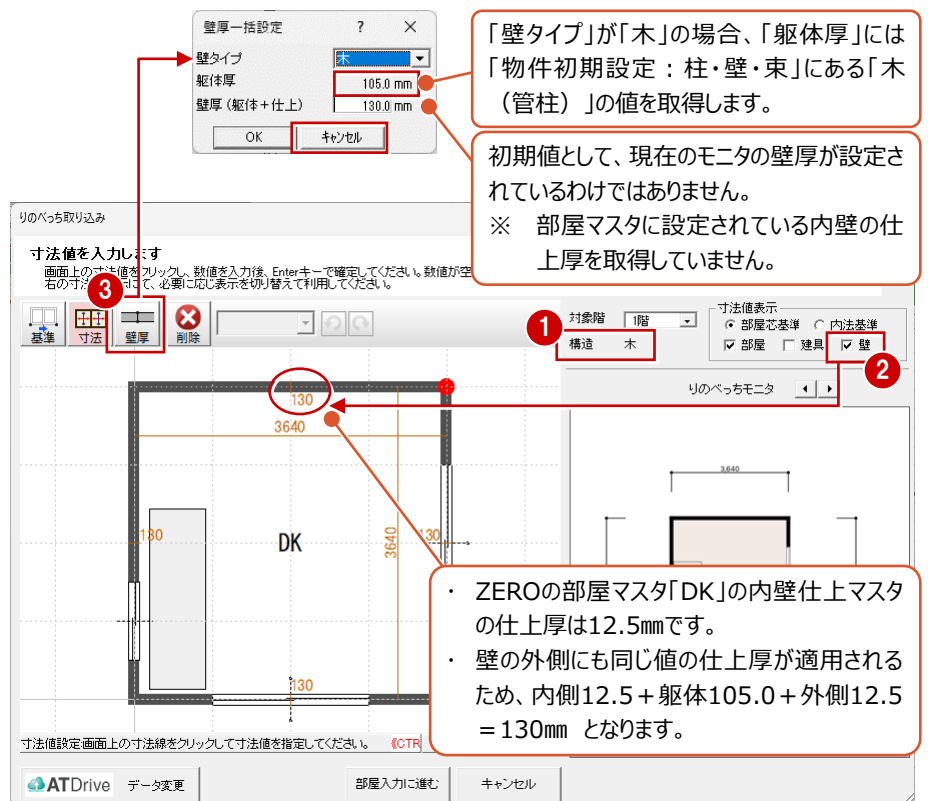
※ 「りのべっち」メニューから「りのべっち間取り取り込み」を選んで同様

- 2 ATDrive 管理画面より、保管スペース、りのべっちデータを選んで「開く」をクリックします。



### 構造・壁厚を確認する

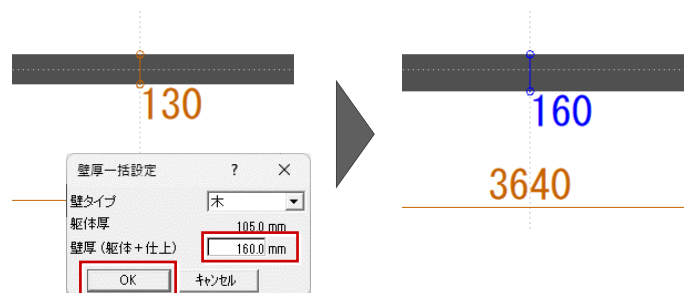
- 1 「構造」の「木」であることを確認します。
- 2 「寸法値表示」の「壁」をONにします。モニタに壁厚が表示されます。
- 3 「壁厚」をクリックして、「躯体厚」を確認します。ここでは、「105」であることを確認して「キャンセル」をクリックします。



### 壁厚を一括して変更するには

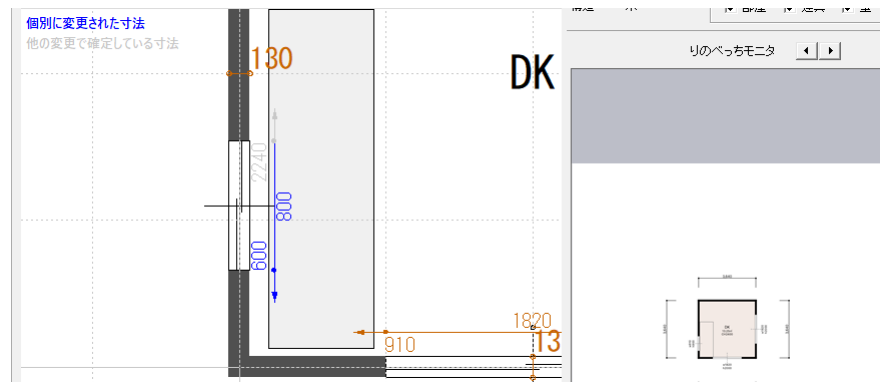
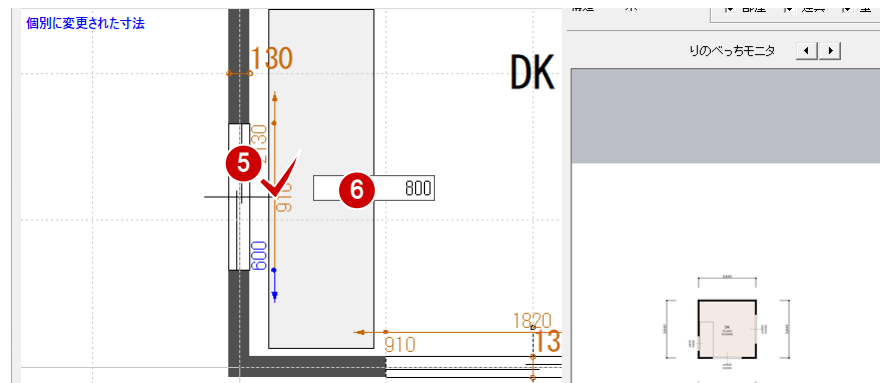
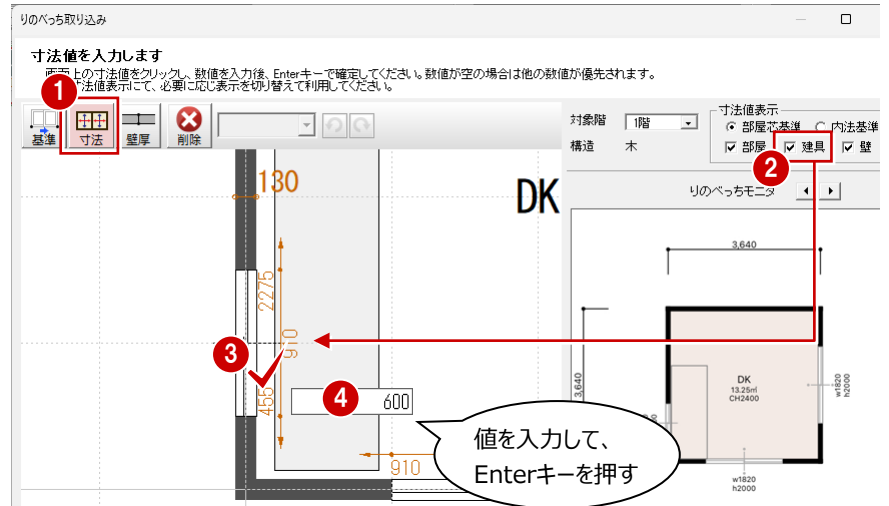
ダイアログ上部の「壁厚」は、全部屋の壁厚（躯体+仕上厚）を揃えたいときなど、壁厚を一括して変更する場合に使用します。

「壁厚（躯体+仕上）」にその値をセットして、「OK」をクリックします。



## 建具の位置・サイズを変更する

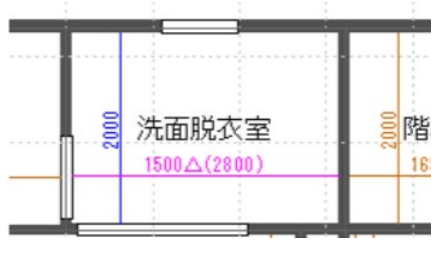
- ① ツールバーの「寸法値設定」をクリックします。
- ② ダイアログ右上の「寸法値表示」の「建具」をONにすると、建具に関する寸法値がモニタに表示されます。
- ③ ここでは、建具の位置を示す寸法値「455」をクリックします。
- ④ 「600」に変更して、Enter キーを押します。
- ⑤ 続けて、建具幅の寸法値「910」をクリックします。
- ⑥ 「800」に変更して、Enter キーを押します。



### 寸法値の色について

寸法を変更後は、青色、マゼンタ色、グレー色となります。

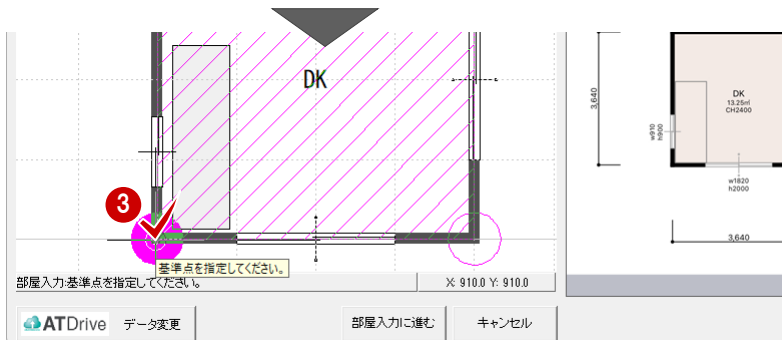
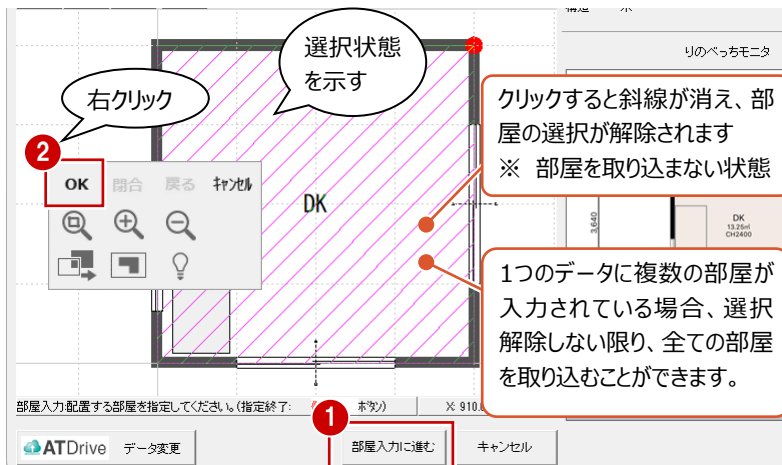
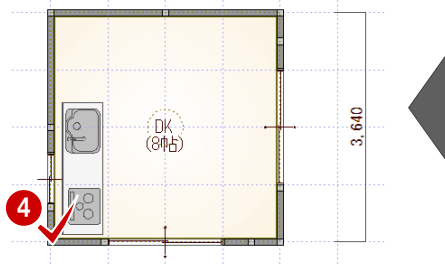
- ・ **青色**  
 個別に変更された寸法を示し、他箇所の寸法変更により自動的に変更されない箇所であることを示します。
- ・ **マゼンタ色**  
 エラーがある寸法を示し、部屋の形状や建具長などにより、寸法を変更できないことを示します。  
 「指定した数値 △ (実際の距離)」  
 で表示されます
- ・ **グレー色**  
 建具寸法で、ほかの寸法変更により確定している寸法値を示します (寸法値は変更可能)





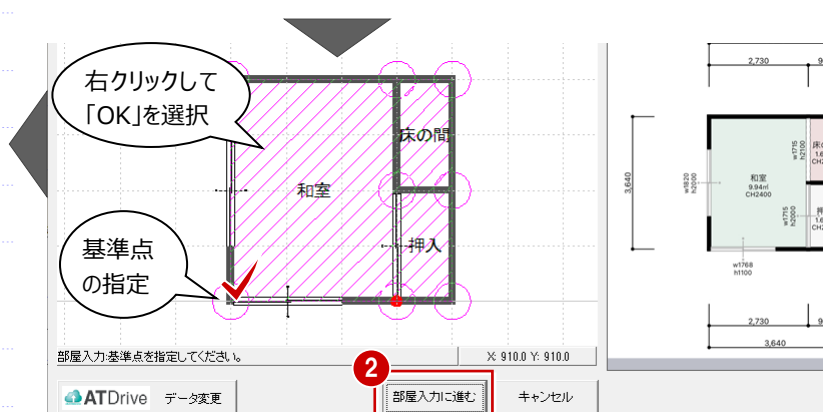
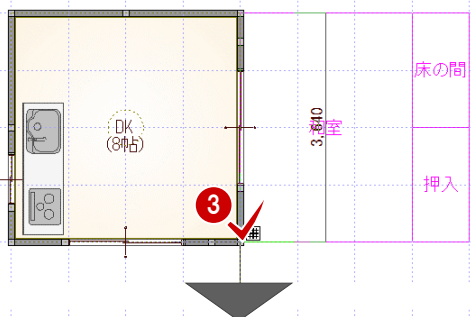
## 部屋・基準点を指定して、平面図に取り込む

- 1 ダイアログ下部の「部屋入力に進む」をクリックします。  
取り込む部屋には、ピンク色斜線で表示されています。
- 2 モニタ上でマウスを右クリックして「OK」、もしくはマウスの中ボタンを押して、部屋の選択を確定します。
- 3 モニタ上で部屋の基準点の位置をクリックします。
- 4 平面図で配置位置をクリックします。  
再度ダイアログに戻ります。



## 続けて 2 部屋目を取り込む

- 1 ダイアログ下部の「ATDrive データ変更」をクリックして、りのべっちデータを選択します。
  - 2 同様に、「部屋入力に進む」をクリックして、取り込む部屋の選択、基準点の指定を順に行います。
  - 3 平面図で配置位置をクリックします。
- ※ 再度ダイアログに戻るので、「キャンセル」をクリックします。



**りのべっちデータを取り込んだ状態について**  
左図の状態は、外壁仕上がりが配置されていない状態です。建具、部品、仕上素材の連携について、P.14を参照してください。

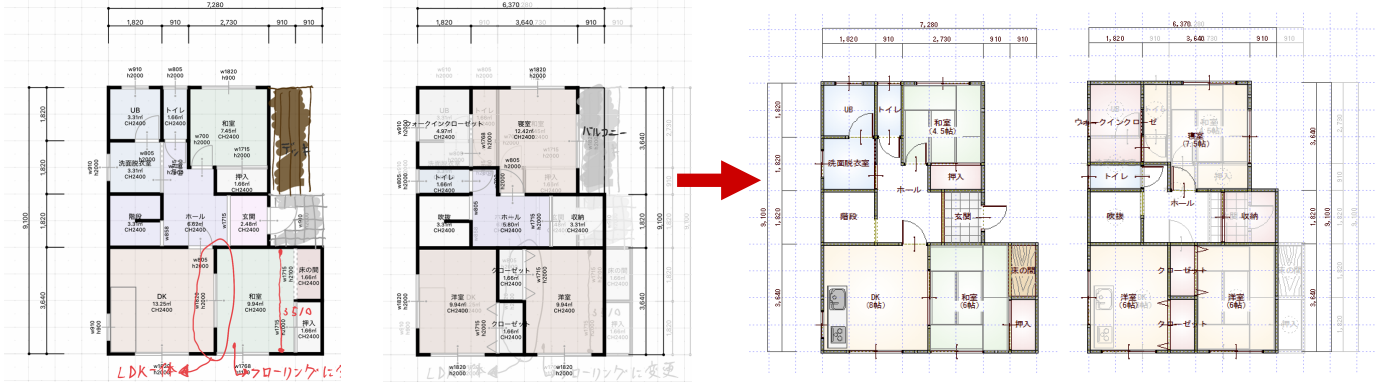


# 3

## 1 棟すべてを取り込む場合

大規模なリフォーム、耐震診断の場合など、「りのべっち」で1棟（次図：データ③※）を作成した場合における、「ZERO」への取り込み方法を解説します。

※ ③のデータには、3Dカタログ.comのメーカー建材を割り当てていない状態です。



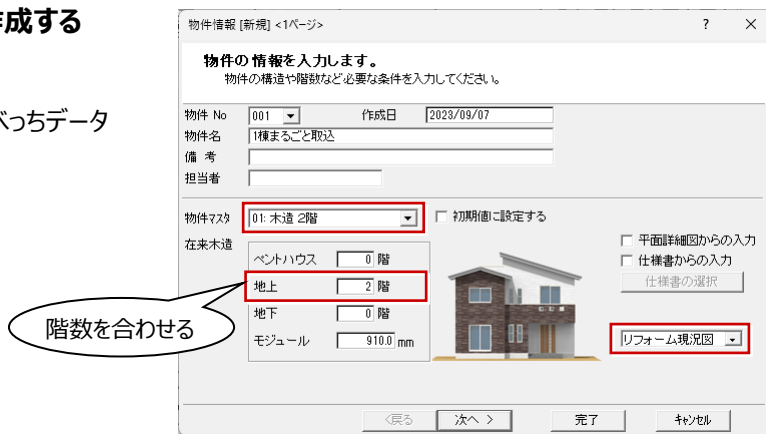
【③ りのべっち 1棟データ (1階)】 【③ りのべっち 1棟データ (2階)】

【ARCHITREND ZERO 1階平面図】

【ARCHITREND ZERO 2階平面図】

### リフォーム現況物件のデータを新規作成する

- ・ 操作については、P.3 参照
- ・ 新規作成ダイアログの「階数」と、りのべっちデータの階数は合わせてください。



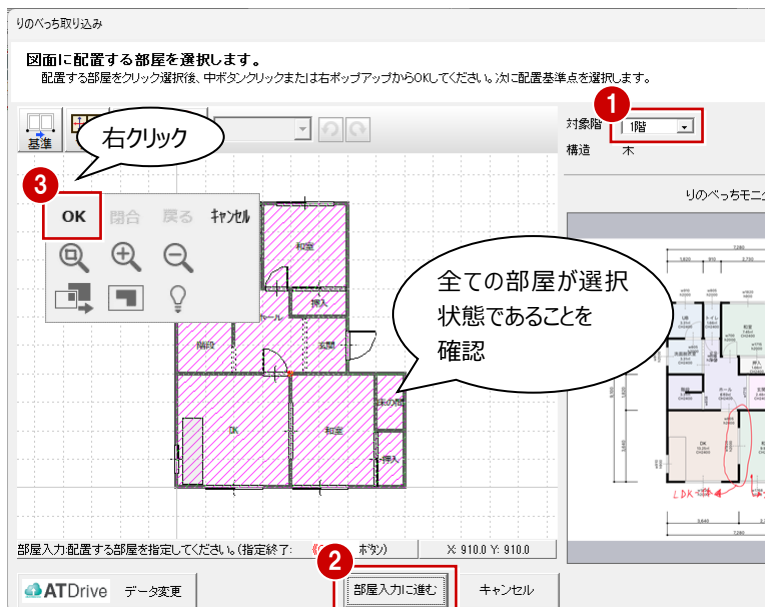
### りのべっちデータを指定する

- 1 ZERO の 1 階平面図を開き、「りのべっち間取り取り込み」をクリックします。
- ※ 「りのべっち」メニューから「りのべっち間取り取り込み」を選んで同様
- 2 ATDrive 管理画面より、保管スペース、りのべっちデータを選んで「開く」をクリックします。



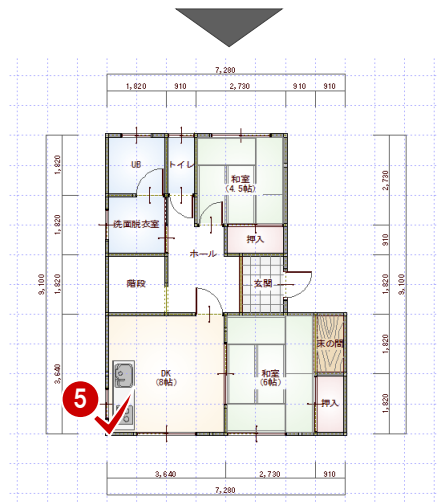
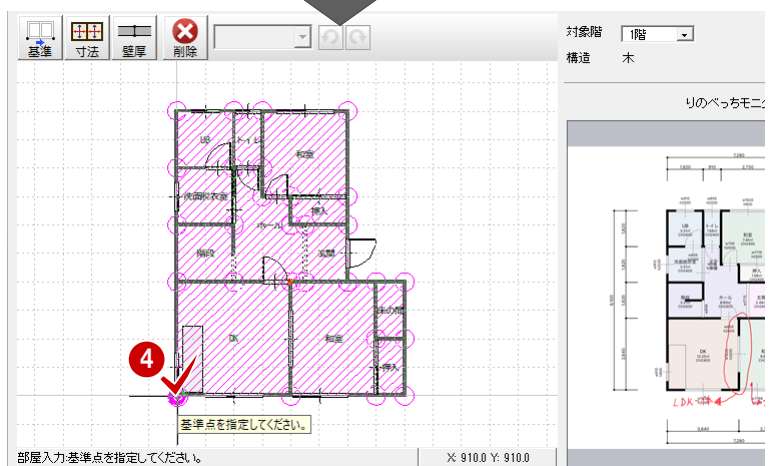
## 部屋・基準点を指定して、平面図に取り込む

- ① 「対象階」が「1階」であることを確認します。
  - ② ダイアログ下部の「部屋入力に進む」をクリックします。
- ※ ここでは寸法などの編集がないものとして進めます。
- ③ モニタ上でマウスを右クリックして「OK」、もしくはマウスの中ボタンを押して、部屋の選択を確定します。
  - ④ モニタ上で部屋の基準点の位置をクリックします。
  - ⑤ 平面図で配置位置をクリックします。
  - ⑥ 再度ダイアログに戻るので、「キャンセル」をクリックします。



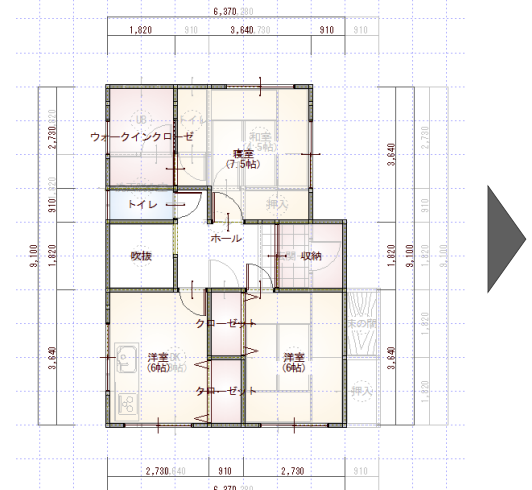
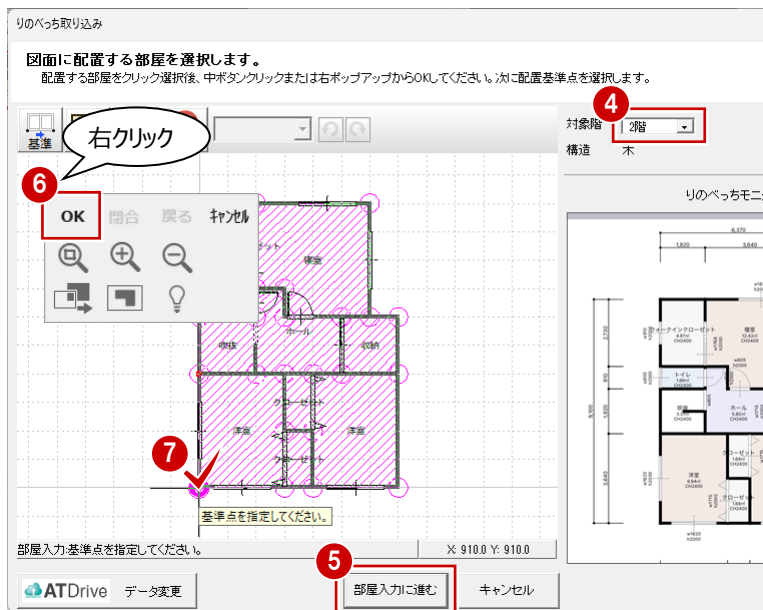
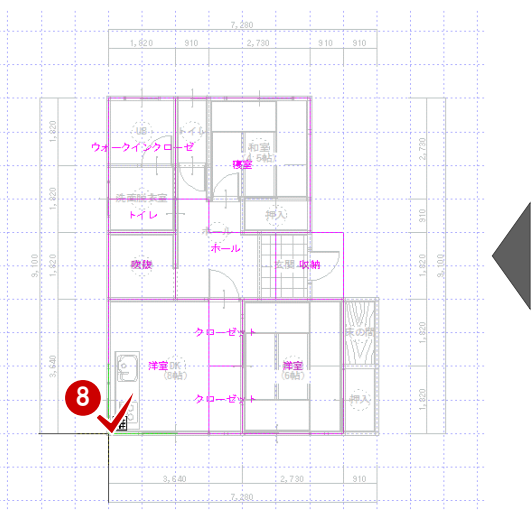
### 寸法の表示・編集について

ダイアログ上部の「寸法値設定」より、部屋寸法、建具位置、建具幅など寸法を変更できます。操作については、P.5を参照してください。



## 続けて2階にりのべっちデータを取り込む

- ① ZEROの2階平面図を開き、1階がバック図面に表示されていることを確認します。
  - ② 「りのべっち間取り取込み」をクリックします。
  - ③ ATDrive 管理画面より、同じりのべっちデータを選んで「開く」をクリックします。
- ※ ここでは寸法などの編集がないものとして進めます。
- ④ 「対象階」が「2階」であることを確認します。
  - ⑤ ダイアログ下部の「部屋入力に進む」をクリックします。
  - ⑥ モニタ上でマウスを右クリックして「OK」、もしくはマウスの中ボタンを押して、部屋の選択を確定します。
  - ⑦ モニタ上で部屋の基準点の位置をクリックします。
  - ⑧ 平面図で配置位置をクリックします。
  - ⑨ 再度ダイアログに戻るので、「キャンセル」をクリックします。

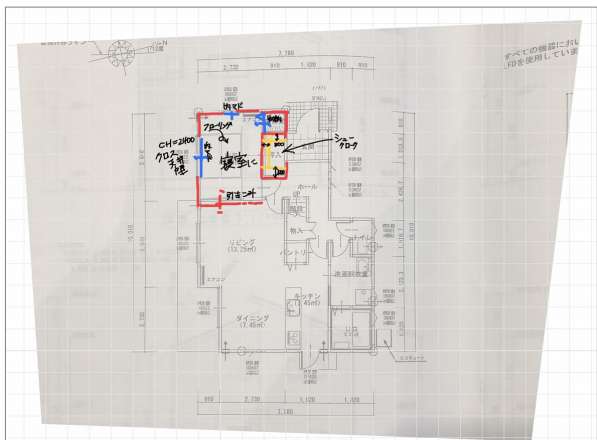


**りのべっちデータを取り込んだ状態について**  
 左図の状態は、外壁仕上がりが配置されていない状態です。建具、部品、仕上素材の連携について、P.14を参照してください。

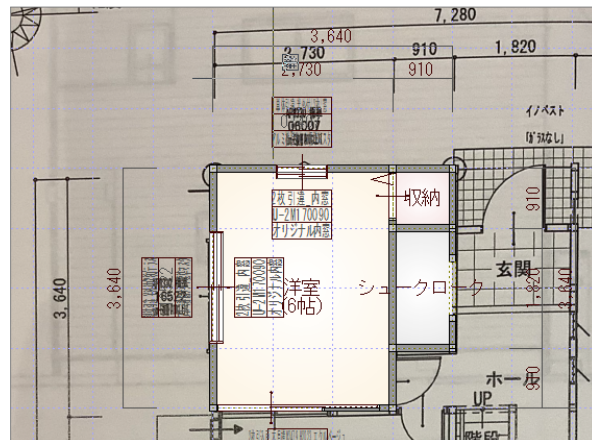
# 4

## 下図だけを取り込む

「りのべっち」にて、図面を撮影するなどして下図だけを取り込み、ヒアリングにてメモ（イラスト機能）を記入するようなケースもあります。そのような場合の「ZERO」への連携方法を解説します。



【④ 下図 リフォーム案】



【ARCHITREND ZERO 平面図】

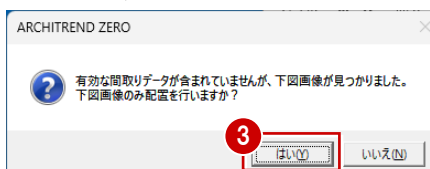
### リフォーム現況物件のデータを新規作成する

- ・ 操作については、P.3 参照
- ・ 1階、2階の下図がある場合は、「地上」も「2階」に設定します。



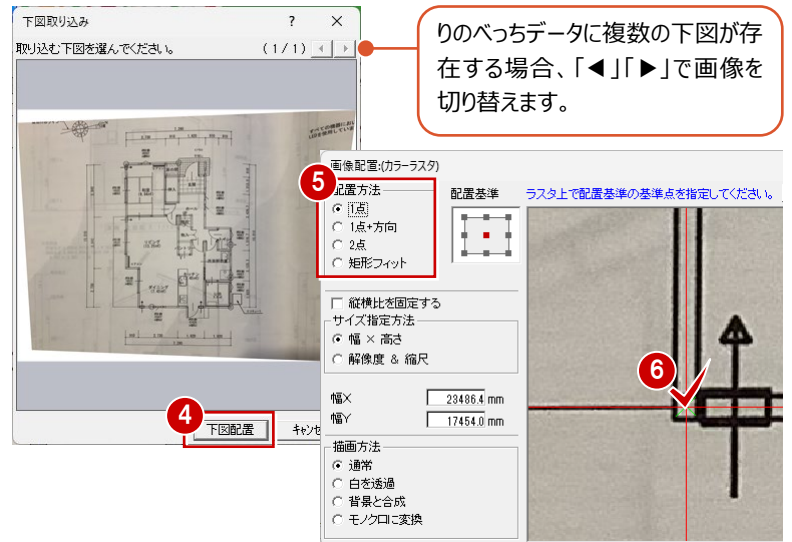
### りのべっちデータを指定する

- ① 1階平面図を開き、「りのべっち間取り取込み」をクリックします。  
※ 「りのべっち」メニューから「りのべっち間取り取込み」を選んで同様
- ② ATDrive 管理画面より、保管スペース、りのべっちデータを選んで「開く」をクリックします。
- ③ 確認画面で「はい」をクリックします。





- 4 「下図取り込み」ダイアログに表示されている画像を確認して、「下図配置」をクリックします。
- 5 「画像配置」ダイアログで配置方法、サイズ、描画方法を確認します。
- 6 モニタ上で下図の配置基準点に位置をクリックします。
- 7 平面図で、下図の配置位置をクリックします。

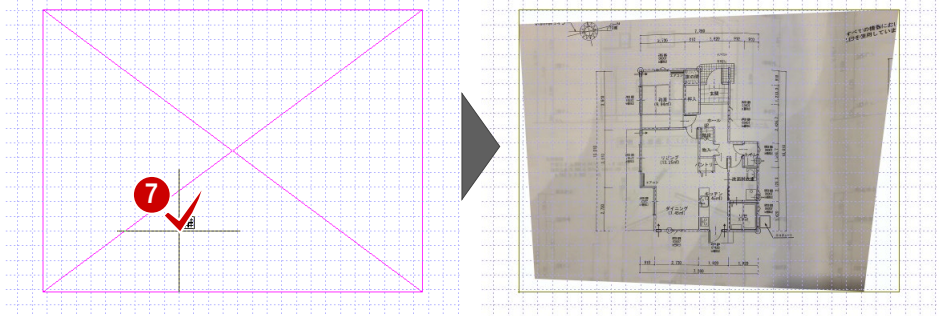


りのべっちデータに複数の下図が存在する場合、「◀」「▶」で画像を切り替えます。

### 下図の縮尺

「りのべっち」の下図の取り込みの際に下図の縮尺を設定しているため、基本ZEROに下図を配置後に縮尺を調整する必要はありません。

下図の縮尺を調整したい、移動・回転したい場合は、汎用ツールバーの「画像」メニューの「縮尺」「移動」「回転」を使用して下図を編集します。



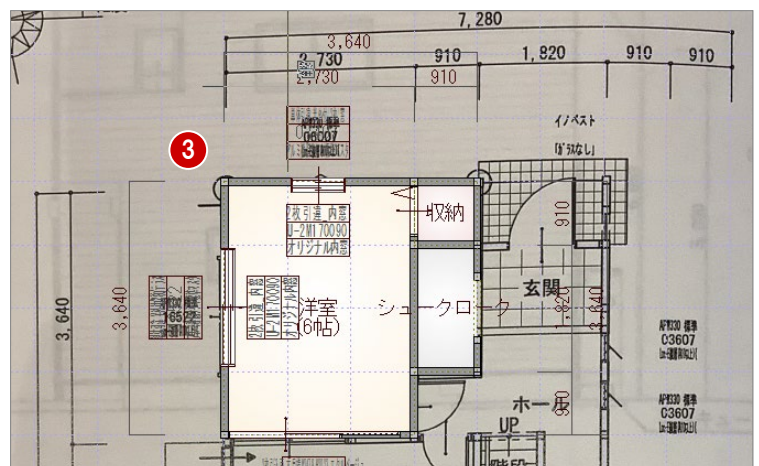
### りのべっちモニタを表示する

- 1 「りのべっち」メニューから「りのべっちモニタ」を選びます。
  - 2 「りのべっちモニタ」には、下図以外に「イラスト」コマンドで入力したメモ（文字列や線分）を確認できます。
  - 3 下図とモニタの内容を確認しながら、平面図を入力します。
- ※ 平面図などの入力については、「リノベーション基本編」を参照



### 下図を参考に平面図を入力する

本書では、下図の縮尺、角度など多少のずれがありますが、下図に表示されている寸法を参考に平面図を入力しています。



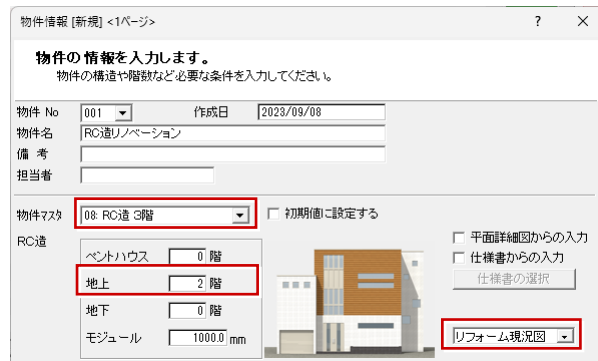
# 5

## S造・RC造の場合

構造が「S造」「RC造」の場合、りのべっちデータの取り込み方法が異なるため、「木造」「2×4」との相違点を解説します。

### リフォーム現況物件のデータを新規作成する

- ・ 操作については、P.3 参照
- ・ 「物件マスタ」で「RC造～」「S造～」などに変更します。



### 内法寸法を確認する

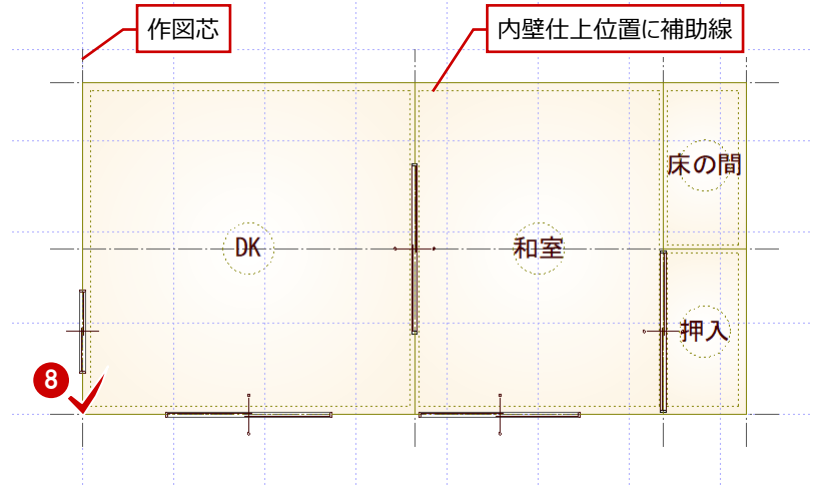
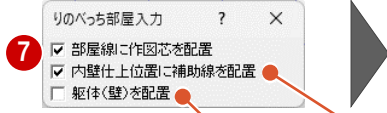
- ① 「りのべっち間取り取込み」をクリックします。
  - ② ATDrive 管理画面より、りのべっちデータを選んで「開く」をクリックします。
  - ③ 「構造」が「RC」であることを確認します。
  - ④ 「寸法値表示」が「内法基準」が ON であることを確認します。
  - ⑤ ダイアログ上部の「寸法値設定」をクリックして、内法寸法を確認します。
  - ⑥ ダイアログ下部の「部屋入力に進む」をクリックして、取り込む部屋、基準点を指定します。
- ※ ここでは、部屋指定と基準点位置の指定の操作は省略しています（操作は P.6 参照）。



7 「りのべっち部屋入力」ダイアログの設定を、次のようにします。

- ・ 部屋線に作図芯を配置 : ON
- ・ 内壁仕上位置に補助線を配置 : ON
- ・ 躯体(壁)を配置 : OFF

8 平面図で、部屋の配置位置をクリックします。



ONの場合、部屋外周部にRC壁を自動作成します。壁の種類が複数ある場合はOFFにして、後ほど壁を手入力します。

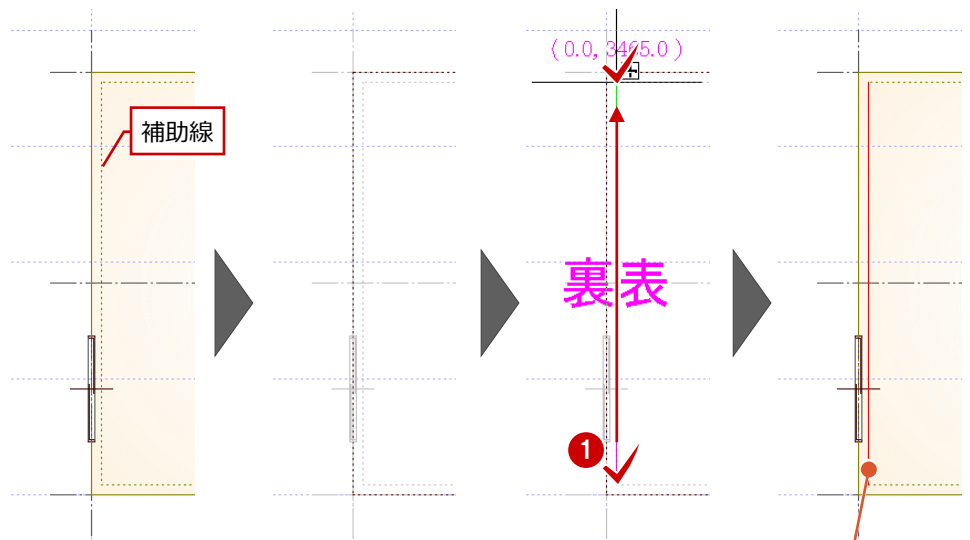
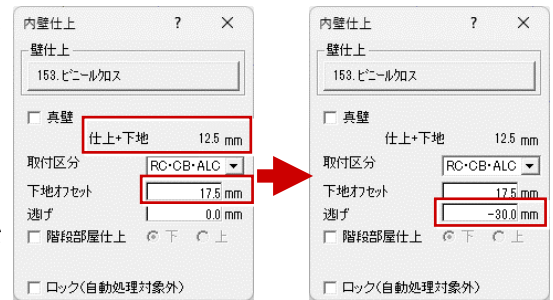
ONの場合、内壁仕上を自動作成せず、内法寸法の位置に補助線を自動配置します。  
※ OFFの場合、内法寸法の位置に内壁仕上を自動作成します。

### 補助線位置に内壁仕上を手入力する

内壁仕上を補助線上に入力するには、「逃げ」に次の値をマイナス値でセットし、補助線に沿って入力してください。

逃げ = 「仕上 + 下地」 + 「下地オフセット」の値 (マイナス値でセット)

補助線ライン上に内壁仕上を入力することで、内法寸法を保持することが可能です。



※ 仕上の手入力時は、壁仕上モードに切り替わります

補助線位置に内壁仕上が入力されます

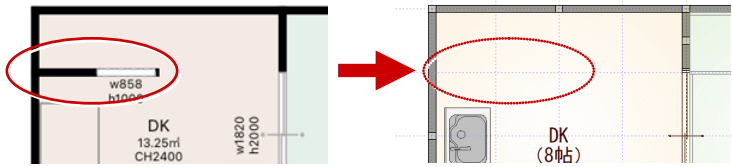




# 6

## りのべっちからの連携データについて

りのべっちから壁、仕上、部品、建具などが連携しますが、連携時の注意点をいくつか紹介します。

### 6-1 壁・素材の連携について

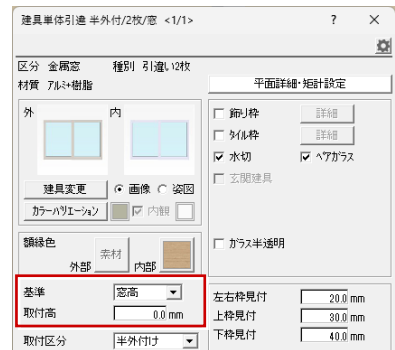
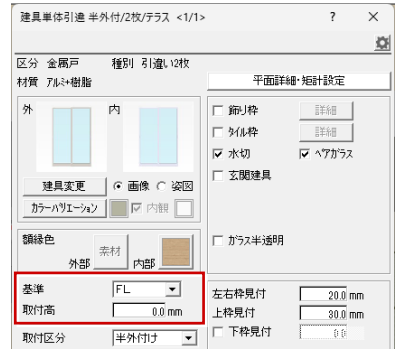
分類	内容	
袖壁	<p>りのべっちで入力されている、部屋線上にない袖壁・たれ壁など壁だけの部分は欠落します。「りのべっちモニタ」を参照しながら、ZEROで入力してください。</p> 	
外壁・天井仕上	<p>連携直後は、外壁・天井仕上が作成されていない状態となります。リノベーションの状況に応じて、外壁仕上または天井仕上を作成してください。</p>	
	<p>1・2部屋の内部リノベーション時など、外壁仕上を回す必要がない場合は、天井仕上のみ作成してください。</p>	
	<p>大規模な改修、耐震診断などのリノベーションの場合など、外壁・天井仕上を回す必要がある場合、「一括作成」コマンドで外壁・天井仕上を自動作成してください。</p> 	
3Dカタログ割当	なし	<p>りのべっちで建材が割り当てられていない場合、ZEROの部屋ごとに割り当たっている部屋マスタの内壁仕上、床仕上、天井仕上の3Dカタログマスタの素材、仕上厚をもとに自動作成されます。</p>
	あり	<p>りのべっちで割り当てられているメーカー建材がそのまま連携します。</p>

### 6-2 部品の連携について

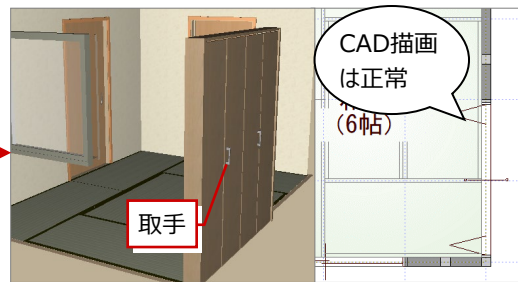
分類	内容	
3Dカタログ割当	なし	<p>りのべっちで建材が割り当てられていない場合、部品が配置されている部屋タイプに応じて、3Dカタログマスタの標準マスタをもとに、部品を自動的に割り当てます。</p>
	あり	<p>りのべっちで割り当てられているメーカー建材がそのまま連携します。</p>

## 6-3 建具の連携について

分類		内容
3Dカタログ 割当	なし	りのべっちで建材が割り当てられていない場合、3Dカタログマスタの標準マスタ、クイック建具マスタをもとに、部屋ごとに建具を自動的に割り当てます。
	あり	りのべっちで割り当てられているメーカー建材がそのまま連携します。
建具高・建具幅		りのべっち側で設定している建具高・建具幅が、そのままZEROに連携します。
戸の取付高		<p>りのべっち側では、建具の取付高を設定できないため、ZEROでは以下のように建具（戸）が連携します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1階取付高：FL±0mm</li> <li>2階取付高：FL±0mm</li> </ul> <p>ZEROに連携後は、建具の属性変更で「取付高」を変更する必要があります。</p>
窓の取付高		<p>りのべっち側では、建具の取付高を設定できないため、ZEROでは「物件初期設定：基準高さ情報」の「窓高」を参照して、窓の取付高がセットされます。</p>
内外 判定	3Dカタログ 割当あり	<p>「りのべっち」にて3Dカタログ.com建材を割り当てている場合、ZEROに1部屋ごと取り込む際、建具の内外判定（外部側か内部側かを判定）が行われるため、建具の内・外の向き逆になることがあります。その際はスポイトなど利用して建具を入力しなおしてください。</p>
	3Dカタログ 割当なし	<p>「りのべっち」にて3Dカタログ.com建材を割り当てしていない場合、ZEROに1部屋ごと取り込むと、部屋間の建具が外部サッシで配置されます。部屋の配置後に建具を入力しなおしてください。</p>



【りのべっち（3Dカタログ割当あり）】



【ZERO連携後】



【1部屋目】



【2部屋目を配置後】

分類	内容
その他	<p>片引戸などが3つの部屋にまたがって配置されるような場合は、ZERO連携時に建具が欠落します。ZEROにて再入力してください。</p> 